

問題 3

1 380円高くなったことから、62円切手を多く買う予定が82円切手を多く買ってしまったことが分かる。

82円切手を1枚増やして62円切手を1枚減らすと、

$82 - 62 = 20$ （円）ずつ代金を多く払うことになる。

切手の枚数の差を求めると

$380 \div 20 = 19$ （枚）

62円切手を買った枚数は、

$(65 - 19) \div 2 = 23$ （枚）

答え 23枚

2 まず、余りが0になることから、3が入ることが分かる。また、□をAからFに置き換えて考える。

$$\begin{array}{r}
 \square \square \\
 7 \square \overline{) \square \square 3} \\
 \underline{\square \square} \\
 \square \square 3 \\
 \underline{\square \square 3} \\
 0
 \end{array}$$

$$\begin{array}{r}
 A \ B \\
 7 \ C \overline{) \square \square 3} \\
 \underline{D \ \square} \\
 E \ \square 3 \\
 \underline{F \ \square 3} \\
 0
 \end{array}$$

分かることを挙げてみる。

・「7C」×Aは2けたの数になっているから、Aは1である。

このこととEは0でないことから、Dは7か8であり、Eも1か2となる。

・B×Cは下1けたが3になることから、「1×3」か「3×1」か「7×9」か「9×7」しかし、E(=F)が1か2であるため、「7×9」「9×7」ではないことが分かる。

・Bが1だとすると、「7C」×1が3けたの数にはならないから、Bは3で、Cは1となる。

これらのことから、

$$\begin{array}{r}
 1 \ 3 \\
 7 \ 1 \overline{) 9 \ 2 \ 3} \\
 \underline{7 \ 1} \\
 2 \ 1 \ 3 \\
 \underline{2 \ 1 \ 3} \\
 0
 \end{array}$$